

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



なたね梅雨よ！ありがとう！



- 毎年3月中旬から1カ月間程度、本州の南海上に前線が停滞しやすく、『なたね梅雨』と呼ばれる曇りや雨の天気が続きます（図）。
- 今年は年初から3月上旬までの降水量が43mm（平年122mm）と少なく、乾燥した状態が続きました。
- ブドウでは、生育初期に土壌が乾燥すると、萌芽の不揃いや展葉や生育不良の原因となります。
- その後の降水により水分不足は回避しましたが、今後も定期的なかん水により順調なスタートを願います。

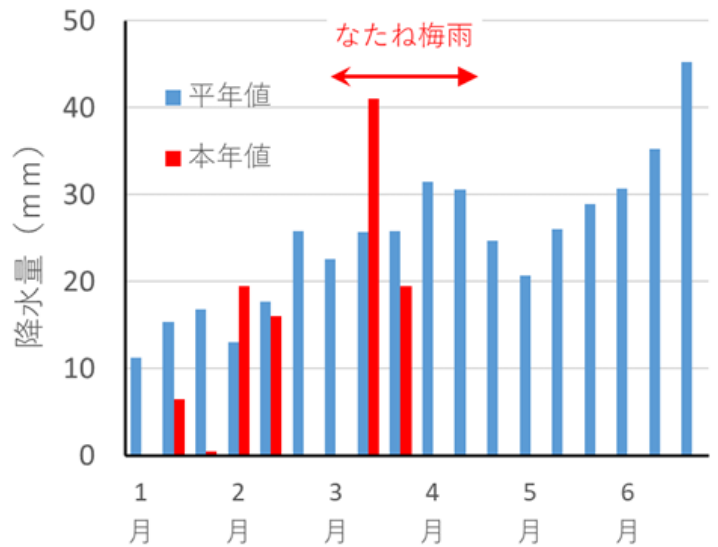


図 旬別降水量(甲府、本年値は3/31まで)



発生すると怖い黒とう病



- シャインマスカットの普及とともに黒とう病が問題となる機会が増えました。
- 黒とう病は、棚に残っている巻きひげや被害枝が伝染源となり、4月下旬頃から降雨により葉や新梢へ感染し、新梢生育や果実品質を低下させます。
- 防除ポイントは、発芽前後の防除を徹底する点です。まず、発芽前の3月下旬から4月上旬にデランフロアブル 200 倍液を散布します。
- さらに展葉初期を迎えたら、チオノックフロアブル 1000 倍液を散布します。
- 引き続き棚面の衛生管理も行いながら、もしも黒とう病の病斑がみられた場合は、症状が認められる新梢、葉、花穂は除去し、園外に持ち出して処分をお願いします。



山梨県果樹試験場

図 黒とう病発生葉(病害虫サポートシステム)